

## 特集

# 議会から見た新年度予算 ~徹底的に審議しました!!

ニューヨークタイムズ紙の選ぶ“2019行くべき場所”で「瀬戸内の島々」が堂々7位に！（国内では唯一）世界が認めた私たちのふるさとを、本島上空から眺めてみました。  
ドローン撮影協力：あやうたライフ

3月定例会  
2月25日～  
3月25日

## 主な内容

- 特集 新年度予算…………… 2
- 3月定例会・議案の内容…………… 4
- 代表質問…………… 6
- 総括質疑…………… 10
- 委員会審査…………… 16
- 旧年度議案審議…………… 18
- 請願審査結果…………… 18
- 丸亀城復旧復興特別委員会…………… 18
- 審議結果…………… 19
- こちら編集室・編集後記…………… 20

# 議会から見た新年度予算

過去に例のない500億円規模の新年度予算。  
1円もムダにすまいと、議会が徹底審査しました。

# 505億円

## 論点 1

### 待機児童解消

本会議の答弁で、新年度の待機児童が113人出るとの見込みが示された。一人でも少なくするための手立てを講じているか。国基準である、「ゼロ歳児は保育士1人に児童3人」に対し本市公立保育所は2.5人」としている。これらの基準を見直してでも待機児童解消に取り組むべきではないか。

**答え** 業務の複雑化で保育士はかなり疲弊している。これ以上負担が増えれば休職者や退職者が発生し、結果として待機児童の増加につながる。現状では基準見直しはできない。

新年度に民間事業者が開設・事業拡張することで今後どのように待機児童が解消される見込みか。

**答え** 私立園の新設や増築などで、全体で317名定員が増える見込みであるが、保育所入所希望者数も増えているので、引き続き待機児童解消のための取り組みは必要である。



## 論点 2

### 高齢者の“足”確保

新規事業として、運転免許証自主返納者に1万円を支援する事業と、希望するコミュニティにモデル事業として市から車を貸し出し、ボランティアの方が運転手となって近隣へ運ぶ「移動手段確保事業」は、敬老祝い金縮減の対応策である。しかし1万円を支援することで返納の効果があがるのか疑問だ。

**答え** 近隣他市でも既に実施しており、一定の効果をあげている。

※予算特別委員会では、委員から賛否双方の討論があり、採決の結果この部分を原案不承認としました。また、返納支援900万円余を移動手段確保事業に編入する修正案が提出されましたが、否決されました。

## 論点 3

### 新市民会館への行程

新市民会館の建設に向けて、今、市民座談会が各地で開かれている。趣旨はわかるが、1万人との対話を目指すとしながら未だに500人程度の状況だ。これを引き続き行うことで、市民会館の建設が遅れることはないのか。

**答え** 市民会館の設置目的を広く市民に理解いただくことを目的としているが、施設のハード面など事業は遅滞なく進める。



# 予算特別委員会での論点

議長を除く全議員で「予算特別委員会」を編成。市民の皆さまのご意見を、各議員がしっかり予算編成に生かしました。

新規事業を中心に、論点をご紹介します。



## Q 若者のネット・ゲーム依存

若者のネット・ゲーム依存が問題になっている。県では対策に向けた調査・研究が進められているが、市の対応は？

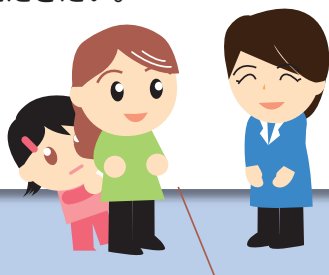


A 県の動向を踏まえ、他市町と連携して何らかのルール作りが必要か検討する。

## Q “アウトリーチ型”の子育て支援

子育て支援事業には既にさまざまなメニューが準備されている。新たに始める“アウトリーチ型”とはどのようなもので、どんなねらいがあるのか？

A 現在の各種相談窓口とつながっていない人や、相談へ“一歩が踏み出せない”人に寄り添い、こちらから出向いて相談支援を行うもの。子育て世帯の心的負担軽減に、ぜひご利用いただきたい。



## Q 住民票等コンビニ交付

新年度から住民票などのコンビニ交付が始まる。開始時期と市民への周知の方法は？

A 4月1日からスタートする。このことを広報まるがめやチラシの配布、ポスター掲示などで周知する。

## Q リノベーションと空き家対策

空き家を活用して価値を高めるリノベーション事業は都市整備部が、空き店舗・空きオフィス活用促進補助金は産業文化部が担う。こういう仕組みで産業振興施策はうまくいくのか？

A 両方の部が情報共有を行い、リノベーションまちづくりに関心のある方を産業振興の補助制度につなげるなど、縦割り意識をなくし取り組みたい。

## Q 財政の硬直化

新年度予算の経常収支比率は99.2%。前年度より1.3ポイントの硬直化で、「自由に使えるお金がとても少ない」という内容だ。今後の財政運営へのビジョンは？

A 扶助費（社会保障など）や公債費（借金）の増加が予想される一方で、歳入の見通しが不透明だ。基金を当てにして拡大ばかりするのではなく、既存事業を見直しながら新規事業を行うという視点を持ち、財政運営に当たる。

**3月定例会**  
2月25日～3月25日  
(29日間)

**3月定例会**  
**審議した議案**

- 2月25日（初日）  
・旧年度議案審議
- 2月27日  
・代表質問
- 2月28日  
・代表質問  
・総括質疑
- 3月1日、4日、5日  
・総括質疑
- 3月6日  
・総務委員会  
・教育民生委員会
- 3月7日  
・都市環境委員会
- 3月8日、11日～14日  
・予算特別委員会
- 3月25日（最終日）  
・委員長報告  
・討論・採決

平成30年度関係議案  
▼議案第1号 一般会計補正予算（第5号）  
歳入歳出それぞれ154億2295万2000円を増額し、総額を602億4607万2000円とするもの。  
主な内容は、消費税引き上げの影響緩和策として実施するプレミアム付商品券事業の事務費1000万円などを計上するほか、モーターボート競走事業からの繰入金157億7000万円を大手町地区公共施設再編整備基金や史跡等整備基金などに計上する。  
▼議案第2号 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）  
▼議案第3号 公共下水道特別会計補正予算（第1号）  
▼議案第4号 農業集落排水特別会計補正予算（第1号）  
▼議案第5号 駐車場特別会計補正予算（第1号）  
▼議案第6号 後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

▼議案第7号 介護保険特別会計補正予算（第2号）  
▼議案第8号 介護保険サービス事業特別会計補正予算（第1号）  
議案第2号～第8号は、事業費の確定見込みに伴い予算総額を補正するもの。  
▼議案第9号 モーターボート競走事業会計補正予算（第1号）  
開催収入を109億4154万円増額するとともに、収益的支出の競走実施費を96億3035万9000円に増額するなど。  
▼議案第10号 駐車場条例の一部改正  
合筆により福島駐車場の地番が変更となったため、所要の改正を行う。  
▼議案第11号 工事請負契約の締結  
飯山南コミュニティセンターの工事請負契約を豊嶋建設株式会社と締結する。  
▼議案第12号 委託変更協定の締結  
城西ポンプ場の長寿命化工事において、日本下水道事業団との建設工事委託に関する協定の

一部を変更する。  
▼議案第13号 市道路線の認定及び変更  
寄附により新たに市の管理となった道路の市道認定など。  
▼議案第14号 新市建設計画の変更  
法改正に伴い、市庁舎等複合施設の整備に係る合併特別債の活用に関する計画を変更する。  
平成31年度関係議案  
▼議案第15号 一般会計予算  
総額505億円。人件費や扶助費、公債費の合計約236億円、歳出全体の46・7%。投資的経費は、市庁舎等複合施設の整備や美術館長寿命化工事、丸亀城石垣復旧事業など約110億3100万円の前年度比81・9%の増加。經常収支比率は99・2%で前年度に比べ1・3ポイントの硬直化。  
▼議案第16号 国民健康保険特別会計予算  
総額126億2800万円。制度の安定的運営に向けた各種施策を推進する。

